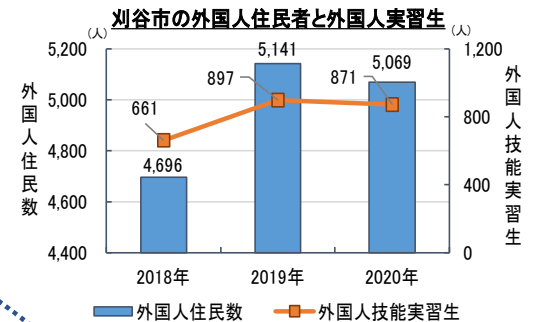


刈谷市	所属議員	黒川智明、佐原充恭、中嶋祥元、鈴木浩二、深谷英貴、伊藤幸弘、
-----	------	--------------------------------

産業目線

【活動項目】 ③中小企業の人材確保	【活動テーマ】 外国人労働者の雇用支援
到達目標	1. 外国人雇用関連に特化した研究会やセミナー等の開催 … 開催回数1回/年以上、および、企業への講師派遣の実施。 2. 外国人実習生を含めた「人材確保事業」および「中小企業人材育成支援事業」の活用促進 … 補助事業達成目標の完遂。 3. 外国人雇用関連の支援制度の構築。
前回まで 活動状況	中小企業コンシェルジュによる企業訪問結果では、人材関連が毎年最上位の課題となっており、外国人の技能実習生をはじめとする外国人労働者の雇用や人材育成支援は重要な視点。現在は、コロナ禍によって外国人の就労人口および技能実習生も減少しているが、コロナ収束後を見据え、外国人雇用に対する企業ニーズや支援のあり方について現状把握を実施し、支援施策の目標設定や新たな拡充支援等についての要望を検討。
今回 具体的活動	<p>1. 外国人雇用に関するノウハウ等支援の充実。</p> ①「外国人雇用研究会」を2019年度6月に創設⇒商工会議所主体で1回/年以上の開催を決めた。 ⇒ R1年度は1回実施し、30社が参加。R2年度・3年度はコロナ感染により休会となっている。 ②「刈谷モノづくり大学」専門講師による外国人雇用に関するアドバイザー派遣事業のPRの強化と派遣活用目標を設定するなど、積極的な活用促進を図るよう要望。 ⇒ R2年度に「外国人雇用セミナー」を1回開催13社が参加。R3年度はコロナで現時点では未定
今回の進捗 【○】	<p>2. 外国人への就労サポートおよび人材育成支援策の拡充。</p> ①外国人就労者の就労相談への対応力強化に資する庁内関連部署の連携強化を提言。 ⇒ コロナにより外国人の労働相談が前年度比1.6倍。ハローワーク・労働基準監督署に繋げている。 ②外国人技能実習生向けの研修受講費補助事業（人材育成支援事業）の活用拡大を提案。 ⇒ R1年度は3名が補助金活用、R2年度は250万円を予算措置したがコロナにより未活用 R3年度は50万円の予算を確保、補助事業活用を促す活動を市当局に要請中
◎…予定前倒し ○…予定通り △…遅れあり	<p>3. 刈谷市、商工会議所、企業の連携による必要な支援、仕組みの見直し提案。</p> ①支援制度は在るが、支援制度の活用状況の低迷を受け、事業者の要望と合致しているのか、また、短期的・中長期的な支援のあり方や目標設定・進捗状況管理について検討を図るよう協議中。 ⇒ コロナ禍によって行政と事業所の協議は難しく、中小企業コンシェルジュによるヒヤリングを継続
今後の活動	コロナ収束後を見据え、外国人雇用に関する雇用主の研修機会の設定や実習生向けの人材育成補助等を会派要望し、制度充実を図る成果は実現できたが、コロナ収束の先行きが見えない現況下、渡航制限による新たな雇用問題について状況把握する必要がある。今後も中小企業にとって必要な支援のあり方について調査研究し、外国人雇用環境の充実に尽力していく必要がある。

【図や活動の様子が分かる写真など】



刈谷市

所属議員

黒川智明、佐原充恭、中嶋祥元、鈴木浩二、深谷英貴、伊藤幸弘、

組合員目線

<p>【活動項目】 ⑤子育て・教育</p>	<p>【活動テーマ】 待機児童対策と祝日保育等の拡充</p>																																																						
<p>到達目標</p>	<p>1. 幼保連携型幼稚園に向けた課題を明確にし、PDCAサイクルで改善策の提案と実行を促す。 2. 「子ども子育て支援事業計画」の仕事と子育ての両立支援についての進捗フォローと待機児童解消を図る。 3. コロナ禍での保育利用のニーズやスタイルの変化による課題解消を図る。</p>																																																						
<p>前回まで 活動状況</p>	<p>待機児童対策として、本年度より全幼稚園を「幼保連携型認定こども園」に移行、令和3年度より4か所の公立保育園が0～2歳児に特化する「乳児園」への移行が始まるが、保育施設の枠組みの変化に伴う課題調査およびコロナ禍に伴う保育の問題・課題に対する要望を実施。</p>																																																						
<p>今回 具体的活動</p> <p>今回の進捗 【○】</p> <p>◎…予定前倒し ○…予定通り △…遅れあり</p>	<p>R3年度当初予算要望(R2/7/22提出)の中に本テーマの内容を織り込み市当局へ要望書提出。その後、議会の一般質問及び委員会質問において、本内容を取り上げ要望活動の展開を行ってきた。</p> <p>1. 幼保連携型幼稚園化への課題を明確にし、改善策提案と実行を促す。</p> <p>①乳児園化への移行による兄弟別園入所問題の解消を要望 ⇒ 入園申込時に別園とならない対応を実施。 ②幼稚園には送迎用の駐車場問題解消を要望 ⇒ 今年度中に駐車場問題の解消を図る。 ③幼稚園化によってPTA活動が困難な保護者も加わるため、共存できる活動の見直しを要望 ⇒ PTA組織を「子ども未来サポーターズ」とし、共存できる活動組織に改変。</p> <p>2. 子ども子育て支援計画の進捗フォローと待機児童解消を図る。</p> <p>①祝日保育施設および利用対象の拡大を要望 ⇒ 公立2園と民間1園で受け入れ拡大を実施。 ②待機児童は20年度11名(0～2歳)発生していたが、民間力も活用した保育施設の増設および幼稚園化による段階的な保育園からの転園促進を着実に進め、21年度の待機児童は4名に減少。 ③22年4月1日～定員90名の民間認可保育園が開園 ⇒ 更に待機児童解消に大きく寄与できる。 ④児童クラブの利用条件緩和が実現 ⇒ R3/7月～保護者が夜間勤務明けの場合も利用可能となった。</p> <p>3. コロナ禍での保育の運用変化の課題解消を図る。</p> <p>①感染防止の徹底と衛生備品の完備を要請 ⇒ 園の感染防止ガイドラインに沿って対応継続中。 ②保護者テレワーク等による保育利用基準の見直し要否の検討を要望 ⇒ 在宅でも受け入れを実施中。</p>	<p>【図や活動の様子が分かる写真など】</p> <table border="1"> <caption>園児数と待機児童数 (人)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>0～2歳</th> <th>3～5歳</th> <th>待機児童</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>18年度</td> <td>8</td> <td>5,474</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>19年度</td> <td>5,789</td> <td>4,543</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>20年度</td> <td>4,501</td> <td>4</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>21年度</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>22年度</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>23年度</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>4か所の公立保育園を乳児園化(0～2歳児専用園)に移行し、0～2歳児の待機児童ゼロへの受け皿拡充</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年齢</th> <th>2020年度</th> <th>2021年度</th> <th>2022年度</th> <th>2023年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5歳児</td> <td>5歳児</td> <td>5歳児</td> <td>5歳児</td> <td>0～2歳児</td> </tr> <tr> <td>4歳児</td> <td>4歳児</td> <td>4歳児</td> <td>0～2歳児</td> <td>0～2歳児</td> </tr> <tr> <td>3歳児</td> <td>3歳児</td> <td>0～2歳児</td> <td>0～2歳児</td> <td>0～2歳児</td> </tr> <tr> <td>0～2歳児</td> <td>0～2歳児</td> <td>200人 ⇒ 370人に拡充</td> <td>0～2歳児</td> <td>0～2歳児</td> </tr> </tbody> </table> <p>※移行に伴い全幼稚園を保育園並みの預かり時間延長(幼保連携型認定こども園化)を実施し幼稚園に改名⇒4園の3歳児以降は幼児園に転園。</p>	年度	0～2歳	3～5歳	待機児童	18年度	8	5,474	11	19年度	5,789	4,543	11	20年度	4,501	4	0	21年度	0	0	0	22年度	0	0	0	23年度	0	0	0	年齢	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	5歳児	5歳児	5歳児	5歳児	0～2歳児	4歳児	4歳児	4歳児	0～2歳児	0～2歳児	3歳児	3歳児	0～2歳児	0～2歳児	0～2歳児	0～2歳児	0～2歳児	200人 ⇒ 370人に拡充	0～2歳児	0～2歳児
年度	0～2歳	3～5歳	待機児童																																																				
18年度	8	5,474	11																																																				
19年度	5,789	4,543	11																																																				
20年度	4,501	4	0																																																				
21年度	0	0	0																																																				
22年度	0	0	0																																																				
23年度	0	0	0																																																				
年齢	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度																																																			
5歳児	5歳児	5歳児	5歳児	0～2歳児																																																			
4歳児	4歳児	4歳児	0～2歳児	0～2歳児																																																			
3歳児	3歳児	0～2歳児	0～2歳児	0～2歳児																																																			
0～2歳児	0～2歳児	200人 ⇒ 370人に拡充	0～2歳児	0～2歳児																																																			
<p>今後の活動</p>	<p>上記要望事項について、一般質問や予算要望等を行い進捗フォローした結果、待機児童および祝日保育の改善に一定の成果を上げることができた。組合員目線の中でも子育て支援の充実は、今後も高いニーズがあるものと認識している。今回のテーマ以外にも子育てしやすい環境づくりに向け、組合員からの情報収集に努め、改善につなげる活動に尽力していきたい。</p>																																																						